海上公園指定管理者管理運営状況等の評価委員会

日 時 令和6年7月23日（火）13時～15時
場 所 東京都庁第二本庁舎9階9B会議室

出席委員

委員長 菊地 俊夫 東京都立大学教授
委員 水庭 千鶴子 東京農業大学教授
委員 小宮山 榮 公認会計士

次 第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 評価の概要
 - (2) 各施設の一次評価・二次評価案説明、質疑応答、評価決定
 - (3) 令和5年度巡回点検の結果報告について
- 3 閉会

■加藤 海上公園課長

ただいまから「東京都海上公園の指定管理者管理運営計画状況等の評価委員会」を開始いたします。私は、本日進行を務めます港湾局 臨海開発部 海上公園課長の加藤でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに、本委員会は委員会設置要綱に基づき審議を公開とし、議事録も公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。

指定管理者の管理運営状況等の評価につきましては、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、評価方法の継続的な改善を図っております。委員の先生方に適切に評価を行っていただき、評価結果を指定管理者の指導に活かしていくことで、海上公園における都民サービスの一層の向上に努めて参ります。

本日は限られた時間ではございますが、活発なご意見とご審議を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、事務局を紹介させていただきます。

東京港管理事務所 臨海地域管理課長の岡でございます。

■岡 臨海地域管理課長

岡でございます。よろしくお願いいたします。

■加藤 海上公園課長

続きまして、委員の方々のご紹介いたします。

東京都立大学 特任教授 名誉教授 菊地俊夫（きくち としお）様でございます。

■菊地 委員

よろしくお願いいたします。

■加藤 海上公園課長

東京農業大学 教授 水庭千鶴子（みずにわ ちづこ）様でございます。

■水庭 委員

よろしくお願いいたします。

■加藤 海上公園課長

公認会計士の 小宮山榮（こみやま さかえ）様でございます。

■小宮山 委員

よろしくお願いいたします。

■加藤 海上公園課長

本委員会の定足数についてご説明いたします。

「海上公園指定管理者管理運営状況等の評価委員会設置要綱」第6の第2項の規定に基づき、委員会は3名の委員の過半数の出席により成立することとしております。本日は3名全員にご出席いただいておりますので、本委員会は有効に成立しておりますことをご報告いたします。

続きまして、委員長を選出ですが、同要綱第3の第2項の規定により、当委員会の委員長は学識経験者の委員の方2名の中から、委員の選挙によって定めることとしております。委員長の選出につきまして、何かご意見がある方はいらっしゃいますか。

■水庭 委員

菊地委員を委員長に推薦いたします。

■加藤 海上公園課長

水庭委員、ありがとうございます。

ただいま、水庭委員から菊地委員を委員長に推薦するご意見がありましたが、いかがでしょうか。

■小宮山 委員

異議ありません。

■加藤 海上公園課長

それでは、異議なしということで菊地委員を委員長に選出することといたします。菊地委員、よろしくお願いいたします。

■菊地 委員

よろしく願いいたします。

■加藤 海上公園課長

続きまして、お手元に配付しております資料の確認をさせていただきます。

配付資料は、「概要説明資料」、「評価資料」、「令和5年度巡回点検の結果報告について」、「事業報告書類（参考）」、「評価結果3か年の推移（参考）」、「海上公園ガイド」の6種類でございます。

なお、「事業報告書類」については、お手元の端末からご参照ください。各指定管理者の事業報告やアンケート結果をまとめておりますので、審査の時にご活用ください。

それでは、議事に入ります。ここで、進行を委員長にお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

■菊地 委員長

それでは、議事に入らせていただきます。

本委員会は、各海上公園の指定管理者の管理運営状況等について、港湾局が評価しました一次評価結果をもとに、本日の評価委員会による専門的な視点から二次評価を決定するものであります。円滑に、そして活発に議論が進みますことを目標によりしくお願いいたします。

はじめに、評価の概要について、事務局より説明をお願いします。

■加藤 海上公園課長

それでは、ご説明いたします。資料については、「概要説明資料」をご覧ください。

2ページをご覧ください。港湾局が所管します海上公園は全部で38か所ございまして、6グループに分けて管理運営をしております。「若洲海浜公園」、「東京港野鳥公園」、「葛西海浜公園」は単独の公園として、そして4番の「お台場海浜公園」をはじめとした「東京臨海副都心グループ」、16番の「辰巳の森海浜公園」をはじめとした「東部地区公園グループ」、24番の「大井ふ頭中央海浜公園」をはじめとした「アメニス海上南部地区グループ」、こちらの6グループに分けて指定管理者を指定しております。

4ページをご覧ください。本日も議論いただきます「海上公園の指定管理者管理運営状況等の評価の位置付け」でございます。

指定管理事業につきましては、PDCAサイクルに基づき、指定管理者は年間事業計画をもとに運営し、都が管理運営状況をチェックいたします。そして、評価・改善を行い、その結果を改めて年間事業計画に反映し運営していくというサイクルを行っております。

評価についてですが、一次評価は東京港管理事務所を中心に実施し、評価委員会において専門的な視点から評価をいただき、こちらを二次評価とさせていただきます。

その後、都で総合評価を行い、「S」、「A」、「B」、「C」という形で評価結果を公表いたします。また本日ご意見いただいた事項などを踏まえ、今後の指導・改善に活かし、指定管理者で改めて年間事業計画を立て、管理運営をしていく流れとなります。

6 ページは評価の観点に記載しております。

評価の観点は、大きく「管理状況」と「事業効果」の2点でございます。さらに、「管理状況」につきましては「適切な管理の履行」から「適切な財務・財産管理」、「事業効果」につきましては「事業の取組」から「行政目的の達成」など、それぞれに細項目を立てております。これらの項目に沿い、7 ページ以降の東京都が求める管理を水準通り行っているのか、上回るのか、下回るのかを点数付けしております。公園によって特色が違う部分もございますので、傾斜をかけ点数を付与しております。

9 ページをご覧ください。点数は68点満点でございます。標準点、いわゆるすべてにおいて水準通りの場合は34点になります。これを基準とし、そこから加点されれば「S」評価や「A」評価となります。もちろん「B」評価だから管理水準が劣るというものではなく、「B」評価であっても都が求める水準に的確に対応しているという評価であることをご留意ください。

その他の確認事項といたしまして、指定管理者の財務状況や、特命要件が継続しているかも加味しております。

10 ページ、11 ページをご覧ください。各団体の財務状況の確認事項でございます。それぞれの確認事項について状況を点数化し、ランク付けをしております。財務状況が選定時と同等なのか、上回るのか、下回るのかで評価をしております。

概要資料についてのご説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございます。ただいまの説明内容について、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

■菊地 委員長

いま説明があったように評価は「S」、「A」、「B」、「C」です。毎年委員会でも議論になるのですが、「B」評価というのは何となく評価が悪いように思われるかもしれませんが水準通りということなので、「B」という言葉に惑わされないでいただければと思います。一番気にしなければならないのは「C」評価が標準以下だということです。「B」評価よりプラスアルファがある場合は「A」評価、さらにプラスアルファがある場合は「S」評価という評価になるということ、「B」評価は水準通りとなるということですが、よろしいでしょうか。

それでは、そのような内容で評価をさせていただきたいと思います。

評価資料の5ページをお開きください。

「安全性の確保」については、お台場海浜公園や有明親水海浜公園において、独自に作成した園内での禁止事項を示したピクトサインの看板を12か所に設置し、増加する外国人観光客を含めた利用者に周知を図りました。また、シンボルプロムナード公園においては、経年劣化による園路の不陸箇所を整備するなど、来園者が安心して快適に利用できる環境を整備したため、「安心して利用できる環境形成」を「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「法令等の遵守」では、個人情報の取扱い、徴収・納付事務、公募要項・協定等に定めた手続きについて問題がないことから、「水準どおり」と評価いたしました。

また、「適切な財務・財産管理」についても、貸与物品を適切に管理、使用していることから、「水準どおり」と評価いたしました。

それでは、6ページをお開きください。「事業効果」に関する評価についてです。

「事業の取組」ですが、シンボルプロムナード公園においては、東京2020大会の修景整備として形成した花壇にボランティアと季節の花を植えて、レガシーとして引き継ぐとともに、石と光の広場では「流れの花壇」の一部に、新規の見どころ花壇を設置し、一般都民ボランティアとチューリップに加えて、春に力強く華やかに咲く球根植物を植え、来園者に花を楽しんでいただける植栽活動を実施しました。また、他県と連携して大規模花壇を形成し、さらにチューリップフェスティバルでは初の試みとしてトリックアートフォトスポットを設置するなどコンテンツを充実させ、広がりのある事業を展開し、公園の魅力向上を図り公園の愛好者や支援者の獲得につなげました。これらの取組により、「公園の愛好者や支援者の獲得」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

他の各項目について、「水準どおり」と評価いたしました。

続きまして、8ページをご覧ください。お台場海浜公園の施設の利用状況についてですが、年間の利用者数は前年度に比べて約19%増加しており、過去3か年平均と比べて約116%増加しております。この要因は、イベントが多数開催されたことによる利用者の増加やインバウンド効果等により観光客が増加したことが考えられます。このことから、「水準を上回る」と評価しております。

続いて「利用者の反応」についてですが、指定管理者が実施する「利用者アンケート」の結果を基に評価を行っております。アンケート調査のうち、総合満足度のほか、草木の手入れや施設の清潔感、安全性など日常管理の部分を抽出し、評価しております。評価結果としまして、お台場海浜公園他5公園において「樹木等の維持」「施設・建物等の管理」「安全・安心」「総合満足度」の各項目とも高評価を得ていたことから「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「行政目的の達成」についてですが、都施工工事において、都や工事関係者などと綿密に連携しながら調整を行い、安全で着実な施工に寄与しました。また、臨海副都心で実施される様々な事業やイベントにおいて、関係機関と調整を行い、安全で円滑な進行につなげました。評価については、「水準どおり」といたしました。

東京臨海副都心グループの代表団体である株式会社東京臨海ホールディングスの財務状況につきましては10ページをお開きください。確認すべき6項目については、同社が持ち株会社であるため、単体の決算では財務状況を判断しがたいことから、子会社を含む連結決算により確認いたしました。選定時と比べ、「経営資本営業利益率」「流動比率」は下回っていますが、「自己資本比率」「固定資産長期資本比率」は上回っており、その他2項目で選定時と同等の水準を維持していることから、海上公園の管理運営事業を行うにあたり財務状況による支障等は見受けられず、事業継続にあたり問題がないことを確認いたしました。

11ページから12ページが、損益計算書、賃借対照表、経営資本及び比較表となっております。

13ページをお開きください。これらの評価結果を総合して、シンボルプロムナード公園の評価を「S」、お台場海浜公園の評価を「A」、その他10公園の評価を「B」といたしました。

なお、特命要件の継続についてですが、「特命の前提となった施設の位置付け」、「東京都政策連携団体の特性と果たした役割」、「都との連携体制」、「事業の取組状況・進捗度」の全ての項目につきまして、前回と変わらず特命要件を継続していることを確認しております。

一次評価結果の説明は以上でございます

■加藤 海上公園課長

引き続き二次評価案についてご説明いたします。

16ページをご覧ください。お台場海浜公園は「A」評価、シンボルプロムナード公園は「S」評価、それ以外の公園は「B」評価としております。

「管理状況」について、お台場海浜公園では、利用者が快適に過ごせるよう、基準を上回る清掃や園地管理などを実施していること、窓口業務で指定管理者内での情報共有の不備に起因する事案が発生したが速やかに対応策が講じられたこと、シンボルプロムナード公園では、基準を上回る清掃や緑地管理に加え、経年劣化による舗装の不陸箇所などを補修するなど、安心して利用できる環境を確保したこと、利用者アンケートにおいて花壇に関する感想が非常に多く、高い水準の利用者満足度を得たこと、その他の公園について、有明親水海浜公園では、無許可での物品販売に対し、隣接する有明アリーナとの協力し、声掛けにより禁止行為の是正に取り組んだこと、各

公園では、施設の不具合に対し、集中的かつ確実に改善するとともに、改善データを集積することで今後の安全対策につなげていることを記載しております。

「事業効果」について、お台場海浜公園では、海の安全を祈願した七色の紙袋にロウソクの火を灯す「海の灯まつり」やデジタルを駆使したプロジェクトマップ「コンコルディア」などのイベントを実施し、来園者数は前年度比約19%の増となったこと、シンボルプロムナード公園では、チューリップの産地である富山県やボランティアと連携した大規模花壇の形成を行ったことなどを記載しております。

「特命要件の継続」について、都が主体となって進めます臨海副都心開発において、海上公園は街の中核であり骨格でございます。臨海副都心地域全体を結びつける公共空間であるとともに、賑わいづくりと防災の空間として機能させていく必要があるところをイベントの実施や防災能力の向上などを通じて、その役割を十分に発揮していると考えております。二次評価案についての説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございました。ただいまの説明にご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

■菊地 委員長

一次評価で「水準を下回る」に1つ丸がついていましたがその辺りを詳しく教えてください。

■岡 臨海地域管理課長

利用者調整につきましては、具体的にはお台場海浜公園における撮影許可、個人のポートレート撮影をしたいというお申し出があった際に、窓口で禁止と判断し申請者に伝えたのですが、これについて東京都もお台場海浜公園を管理している東京港埠頭株式会社もそのような判断をしていなかったことから行き違いがおき、またその行き違いが起きたことを本社に対してうまく説明が行えていなかったこと、そして東京都に対する報告も不正確であいまいなものがあったということで少しトラブルが広がってしまったということがございました。この件について、指定管理者の現場と本社との連絡体制、それから指定管理者と東京都との連絡体制の見直しや接遇等の研修をするなど再発防止策を講じました。

■菊地 委員長

わかりました。お台場海浜公園の事業報告書を見ると、新規で様々な事業を実施しているので頑張っていると思うのですが、このようなミスがあったことなどを考慮して、「S」評価にはならなかったということですね。

■岡 臨海地域管理課長

そうです。

■菊地 委員長

わかりました。他に皆さん何かありますでしょうか。

■菊地 委員長

事業報告書を見ると、事故の報告がいくつかあり、特にシンボルプロムナード公園では自転車の事故が何件か報告されています。適切に処理されているのですが、今後公園内の自転車やスケートボードなど移動物に対して何か指定管理者と対応は行っているのですか。

■岡 臨海地域管理課長

スケートボード等については、各指定管理者で段差があるところや興味がわくようなところは禁止の掲示をしております。自転車につきましては、例えばサイクリングロードの対策の一方通行化などもこれから検討していこうと思っております。

■事務局

スケートボードを利用するような場所につきましては、あらかじめ使用できないように突起のあるものを設置するなど対策を講じております。

■菊地 委員長

わかりました。他にありませんでしょうか。

それでは二次評価につきましては、原案どおりとしてよろしいでしょうか。

■小宮山 委員

異議ありません。

■水庭 委員

異議ありません。

■菊地 委員長

それでは、「お台場海浜公園ほか 11 公園」の評価につきましては、案のとおりにさせていただきますと思います。

続きまして、「辰巳の森海浜公園ほか 7 公園」の東部地区公園グループの一次評価結果及び二次評価の事務局案について、事務局から説明をお願いします。

■岡 臨海地域管理課長

それでは、一次評価結果についてご説明いたします。

18 ページをお開きください。「管理状況」に関する評価についてです。

「適切な管理の履行」について、辰巳の森海浜公園では、除草、芝刈りなどを強化していることから、「園地管理」について「水準を上回る」と評価いたしました。

続いて晴海ふ頭公園は、トイレの清掃や低木刈込、樹木の剪定を強化していることから、「建物管理」、「樹木管理」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

「規制業務」については、晴海ふ頭公園において、利用者の多い週末に警備員を配置し、駐車場の満車時対応や路上駐車防止対応を実施しました。また、自転車での来園者も多いため警備員を配置し、2か所の駐輪場への誘導を行うとともに、歩道など

駐輪場ではない場所に置いている自転車に対応するため、臨時駐輪場を増設しました。さらに、観賞用の噴水へ進入して遊ぶ事例が多発したため、水面にネットを設置するなど進入防止対策を図り、園内の安心安全な環境を確保しました。これらの取組により、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、東部地区は接遇に関するアンケート評価が高く、利用者への案内も適切に行っていたため、「窓口業務（接遇・苦情対応）」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

「安全性の確保」については、日常の巡回や点検が適切に行われ、管理瑕疵による事故の発生はありませんでした。また、令和5年度から園内施設の東京アクアティクスセンターが災害時の一時滞在施設となったことから、地震などの津波被害を想定し、避難訓練を連携して実施するなど、安全対策を適切に行っていることから、評価は「水準どおり」といたしました。

次に、「法令等の遵守」では、個人情報情報の取扱い、徴収・納付事務、公募要項・協定等に定めた手続きについて、問題がないことから、「水準どおり」と評価いたしました。

また、「適切な財務・財産管理」も、貸与物品を適切に管理、使用していることから、「水準どおり」と評価いたしました。

20 ページをご覧ください。「事業効果」に関する評価についてです。

「事業の取組」については、東京2020大会のレガシー継承及び海上公園の魅力向上のため、公園を巡回するツアーを実施し、晴海ふ頭公園の選手村跡地など各施設担当者が丁寧にガイドすることで、参加者の満足度を向上させる取組を行いました。

晴海ふ頭公園では、消防署と連携したVR地震体験や消火器体験などの防災体験や家族向けスポーツ体験を組み合わせたイベント「ASOBO!sai」（年4回）を実施しました。また、地域の団体と連携し、夜間イベント「ねぶくろシネマ」を開催し、親子で参加できるよう子供向け映画を上映するなど、新規来園者を増やすとともに、公園の賑わいを創出した取組を行ったため、「新規来園者等を増やす取組」は「水準を上回る」と評価いたしました。

晴海ふ頭公園では、指定管理者独自に公園管理事務所を設置し、有人管理を行うことで、地域の利用者や晴海フラッグ入居開始に伴う利用者などに対し、公園の利用案内など丁寧に対応し、利便性の提供や快適な利用環境の整備を実施したため、「公園滞在中の満足度向上」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、辰巳の森海浜公園の施設の利用状況についてです。

年間の利用者数は前年度に比べて約10%増加し、過去3か年平均からも約31%増加しました。イベントにおいて地域の交流の場を創出したことやラグビーなど公園施設

の利用時間の延長などの取組により、利用者が増加したと考えられます。このことから、「水準を上回る」と評価いたしました。

評価資料の 21 ページをご覧ください。続いて「利用者の反応」についてですが、アンケート調査による評価結果としましては、辰巳の森海浜公園、辰巳の森緑道公園において「樹木等の維持」「施設・建物等の管理」「安全・安心」「総合満足度」の各項目とも高評価を得ていたことから「水準を上回る」と評価いたしました。その他の公園では 7 項目について高評価を得ていたことから、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「行政目的の達成」についてですが、晴海地区整備工事に伴う晴海ふ頭公園内の植栽の移動など、都や施工事業者と綿密に調整を行い、都の施策へ協力しました。

また、晴海ふ頭公園の官民連携事業者と共催事業を実施し、公園の活性化を行いました。

評価については、「水準どおり」といたしました。

東部地区公園グループの代表団体である東京港埠頭株式会社の財務状況につきましては、評価資料の 22 ページをご覧ください。選定時と比べ、全ての項目で選定時と同等の水準を維持していることから、海上公園の管理運営事業を行うにあたり財務状況による支障等は見受けられませんでした。

23 ページから 24 ページが、損益計算書、貸借対照表、経営資本及び比較表となっております。また、構成団体につきましても財務状況による支障等は見受けられず、東部地区公園グループの経営状況、財務状況ともに事業継続にあたり問題がないことを確認いたしました。

28 ページをお開きください。これらの評価結果等を総合して、辰巳の森海浜公園の評価を「A」、晴海ふ頭公園の評価を「A」、その他 6 公園の評価を「B」といたしました。

一次評価結果の説明については以上でございます。

■加藤 海上公園課長

引き続き二次評価案についてご説明いたします。

30 ページをご覧ください。辰巳の森海浜公園は「A」評価、晴海ふ頭公園は「A」評価、それ以外の公園は「B」評価としております。

「管理状況」について、辰巳の森海浜公園では、基準を上回る園地管理を実施して高い水準の利用者満足度を得たこと、晴海ふ頭公園では、晴海フラッグというマンションの入居が開始となり、公園利用者が増えている公園です。特に利用者が多い週末に警備員を増員して実施した駐車場や駐輪場の混雑対応や噴水の侵入防止対策など園内の環境整備に努めたこと、その他の公園については、夢の島緑道公園では、樹木の適正化を計画的に実施したことを記載しております。

「事業効果」について、辰巳の森海浜公園では、アクアティクスセンターや地域との連携による清掃活動のほか、「こども祭り」や「移動動物園」などニーズに即したイベントを実施し、前年度比 180%の来園者数を記録したこと、ドッグランのニーズを踏まえ、利用時間を延長したことや夜間利用者のための太陽光発電の照明を設置したこと、利用者の要望に応え、ドッグランの芝の張替えを行い、その際に若洲海浜公園の指定管理者と連携をして、ゴルフ場の改修で不要となった芝を再利用して経費削減効果を上げるとともに利用者の満足度を高めたこと、晴海ふ頭公園では、東京 2020 大会のレガシーの継承ということで、指定管理のエリアを超えて、晴海ふ頭公園のみならず、有明聖火台や有明コロシウムなどを巡るレガシーガイドツアーの企画や実施をしたこと、都が実施する施策において指定管理者として関係者と円滑かつ丁寧に調整と対応を行ったこと、イベント時には官民連携施設のイベントと連携して実施したことで多くの参加者を集め、賑わいを創出したことを記載しております。その他の公園については、緑道公園などをより多くの方々に知ってもらうため、Xによる情報発信に加え、新たにインスタグラムを活用することで、公園の魅力を発信したことなどを記載いたしました。

その他、晴海ふ頭公園では、官民連携事業者と連携して、共催事業を実施し公園の活性化に努めたことなどを記載しております。

二次評価案の説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見やご質問等がありましたらお願いいたします。

■水庭 委員

評価についてはよろしいかと思えます。様々なイベントがあって良いと思ったのですが、有料なのかどうなのかがわかると良いと思えます。あと少人数の開催もあったので、これらはどのように告知されているかが分かったら良いと思えます。

■菊地 委員長

他にありますでしょうか。

■菊地 委員長

昨年の評価委員会でも話題になったのですが、晴海緑道公園と晴海ふ頭公園が離れており、連携はどうなっていますか。また晴海緑道公園は区の公園と連続していますが連携は現時点ではどうなっていますか。

■事務局

晴海緑道公園と晴海ふ頭公園の間につきましては、現在バスターミナルがあり、客船ターミナルも今後整備していく予定となっております。その整備計画や調整等もご

ざいまして、今のところはまだ離れている状況ですが、今後検討していくものと考えております。

■菊地 委員長

連携することによって、相乗効果で多くの利用者が来るだろうと思います。晴海ふ頭公園は、東京の写真を撮るスポットとして港湾やビル、東京タワーなど色々なものが見えるところで、さらに東京のレガシーとしてこれからたくさんお客さんが来ると思います。晴海緑道公園の先は中央区の公園ですか。

■岡 臨海地域管理課長

はい。

■菊地 委員長

前回話した、区との連携についてはまだできてないようですが、今後連携をとる可能性はありますか。

■事務局

関係部署との調整の中で検討ができればと思います。

■菊地 委員長

海上公園としてはそこまで問題はないのですが、利用者の立場から言うと連動して歩けるようになるとより魅力的になると思います。水辺をずっと歩けるというのが可能であれば利用者としてはありがたいと思います。

■岡 臨海地域管理課長

レガシーガイドツアーについては、3つの指定管理者のグループが連動してそれぞれの施設を巡りました。東部地区公園グループが主催で開催したのですが、有明コロシアムや晴海ふ頭公園、有明アクアティクスセンター、有明聖火台などをバスで案内し非常に好評でした。これも3つの指定管理者が連携して開催したものでした。

■菊地 委員長

公園の管理者が連携して公園利用を促進させる、先ほど芝の張替えでも連携したとありましたが、継続する取組などがあれば、また紹介していただければと思います。

■菊地 委員長

他にありますでしょうか。

では、二次評価について原案どおりでよろしいでしょうか。

■小宮山 委員

異議ありません。

■水庭 委員

異議ありません。

■菊地 委員長

それでは、「辰巳の森海浜公園ほか7公園」の評価につきましては、案のとおりにさせていただきます。

続きまして、「若洲海浜公園」の若洲シーサイドパークグループの一次評価結果及び二次評価の事務局案につきましては、事務局から説明をお願いします。

■岡 臨海地域管理課長

それでは、一次評価について説明いたします。

評価資料の32ページをお開きください。

まずは「管理状況」に関する評価のうち、「適切な管理の履行」についてです。

ゴルフリンクスでは、トイレや事務所内の清掃や消毒を徹底しており、部署間の相互チェックや、本社及び外部講師による評価を受けるなどして、より快適な環境の提供に努めています。また利用者に直接ヒアリングを行い利用者目線に立った環境整備を行うなど、強化していることから、「建物管理」について「水準を上回る」と評価いたしました。

「園地管理」については、令和4年度よりGPS搭載無人芝刈り機により夜間作業が可能になり、機器に高い技能を持つ熟練者の刈込技術を記憶させることで、高度な作業を実施でき、効率的・効果的な園内管理を行いました。

また、サイクリングロードについても、支障枝の剪定や除草を適切に行い、見通しを確保し安全な利用環境を維持していることから、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「利用者調整」について、ゴルフの予約方法は、これまでの先着順から全てWEBによる抽選制へ移行し、利用者の利便性を向上させるとともに、公平公正な利用機会の提供を行いました。移行に際しては、電話やフロントに設置した特設窓口において、問合せに対応したことで、混乱なく移行することができ、利用者から好評を得ました。

また、サイクリングロードでは、スピード出しすぎなどの危険行為に対する注意喚起の看板を設置するなど、適正な公園利用を維持したことから、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、若洲海浜公園は接遇に関するアンケート評価が高く、利用者へ案内など丁寧な対応を行っていたため、「窓口業務（接遇・苦情対応）」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「安全性の確保」については、日常の巡回や点検が適切に行われ、管理瑕疵による事故の発生はありませんでした。

また、ゴルフ利用の全組にGPSナビ付乗用カートを導入したことで、利用者自身がコース情報や前後の組との間隔を把握でき、打球打ち込み防止となり利用者の安全性を高めました。評価については、「水準どおり」といたしました。

次に、「法令等の遵守」では個人情報の取扱いなど、問題がないことから、「水準どおり」と評価いたしました。

また、「適切な財務・財産管理」についても、貸与物品を適切に管理・使用していることから、「水準どおり」と評価いたしました。

評価資料の 33 ページをお開きください。「事業効果」に関する評価についてです。

「事業の取組」において、独自のスマホ専用アプリを開発し、空き状況をリアルタイムに確認でき、予約がいつでも行えるようになりました。また、ゴルフプレーの当日は、これまで受付で紙に必要事項を記入し、チェックインしていたところを、QRコードを自動チェックイン機にかざすだけでチェックインが可能となりました。また、新たに追加した自動精算機によりキャッシュレスで清算が可能になるなど、快適な利用環境を提供し利用者の満足度向上を実現したことから、「公園滞在中の満足度向上」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「施設の利用状況」については、年間の利用者数は前年度から約 1%増加し、過去 3 か年平均からは約 17%増加しました。前年度から約 1%増加に留まったのは、サイクリングロードの利用者数が天候の影響で減少したと考えられます。このことから、評価は「水準どおり」といたしました。

次に、「利用者の反応」については、全ての項目について高評価を得ていることから、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「行政目的の達成」については、都のキャッシュレスの取組みに協力し、新たにキャッシュレス自動精算機を導入したことで利用者の利便性を高めました。

評価については、「水準どおり」といたしました。

34 ページをご覧ください。若洲シーサイドパークグループの代表団体である東京港埠頭株式会社の財務状況についてですが、先ほど東部地区公園グループの財務状況でご説明したとおりですので、同様に、海上公園の管理運営事業を行うにあたり財務状況による支障等は見受けられませんでした。

また、構成団体につきましても財務状況による支障等は見受けられず、若洲シーサイドパークグループの経営状況、財務状況ともに事業継続にあたり問題がないことを確認いたしました。

40 ページをご覧ください。これらの評価結果を総合し、若洲海浜公園の評価を「A」といたしました。

一次評価結果の説明は以上でございます。

■加藤 海上公園課長

引き続き二次評価案についてご説明いたします。

42 ページをご覧ください。若洲海浜公園は「A」評価としております。

「管理状況」について、ゴルフ場では、フロントやコース内のトイレ、更衣室などにおいて、基準を上回る清掃及び消毒を実施したことに加え、利用者に清掃状況について適宜直接ヒアリングを行うなど利用者目線に立った環境整備を徹底したこと、海釣り施設では、堤防や護岸に設置の看板をリニューアルし大きく分かりやすい掲示にすることで、立入禁止区域での釣りの危険性やマナー向上の認識を高めたこと、関連園地では、サイクリングロードにおきまして、スピードの出し過ぎなどの危険走行に対する注意喚起を行ったことを記載しております。

「事業効果」について、ゴルフ場では、独自のWEB抽選制、また専用アプリを開発し予約から清算まで完結するスマートラウンドシステムを導入し利用者の利便性を向上したこと、抽選制の導入について83%のユーザーが好意的に評価をしたこと、海釣り施設では、隣接する区立若洲公園と連携し、釣り教室後にキャンプ場で釣った魚を使ったバーベキューを行うという新たな過ごし方を提案するイベントを実施したこと、関連園地では、季節折々の花などの多様な情報を動画を交えて発信し、公園利用の促進を図ったことを記載しております。

その他、キャッシュレス自動精算機を導入したことなどを記載しております。

二次評価案の説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

■水庭 委員

33ページの都が推奨するキャッシュレスの導入については、水準通りなので1点ということですか。

■岡 臨海地域管理課長

キャッシュレス対応は他のグループも行っていますので水準通りとなっております。

■水庭 委員

もしキャッシュレス対応を行っていなかったら0点になりますか。

■岡 臨海地域管理課長

総合的に見ております。例えばほかに工事の調整などもしていただいております。

■水庭 委員

利用者が多くキャッシュレス導入が難しい中での取組なので、もっと評価高くでもいいのではないかと思いましたが、総合的に見て水準通りということですね。

■菊地 委員長

私も評価が高くていいのではないかと思っていますのですが、「A」でも十分評価はされているということなので問題はないと思います。ただ先ほど説明があったよう

に、今年度、新規事業として予約のシステムを変更し、それによってキャンセル率がだいぶ低下しました。そういったことも重要だと思っています。予約システムを変えることによってキャンセル率が下がって多くの人が利用できるようになったというのは非常に評価すべきものです。

■小宮山 委員

33 ページのところですが、ゴルフリンクスで都民優待デーを増やしたり、ビギナーデーを開催したり、この辺りは評価されてもいいと思ったのですが、水準通りなのですか。

■岡 臨海地域管理課長

都民優待デーはこれまでも年に1回ですが、取組はあったため、拡充というところで水準通りとしました。

■事務局

前年度に形態は違うのですが、同じような取組があったということで、拡充ということになりました。もし目立ったものがあればより評価は高かったと思います。

■菊地 委員長

皆さん、もう少し評価を上げてもいいのではないかという気持ちはあると思いますが、「A」であっても十分に評価されていること、また今後のさらなる管理水準の向上を期待して「A」評価としてもいいのではないかと思います。また事業報告書を見てみると、前回に比べるとゴルフ場だけではなく、周りのサイクリングロードや海釣り施設についてしっかり記載されていて、以前ですと海釣り施設においては不適切な利用をしている利用者が多かったところ、注意喚起をしてマナーを守るようになったということが事業報告書に書いてあります。それは非常にしっかり管理されており、従来の欠点を補っていると思うのですがいかがでしょうか。

それでは二次評価については、もう少し評価を上げていいのではないかという意見もありますが、原案通りとしてよろしいでしょうか。

■小宮山 委員

異議ありません。

■水庭 委員

異議ありません。

■菊地 委員長

それでは、「若洲海浜公園」の評価につきましては、案のとおりとさせていただきます。

■菊地 委員長

続きまして、「東京港野鳥公園」の東京港野鳥公園グループの一次評価結果及び二次評価の事務局案について、事務局から説明をお願いします。

■岡 臨海地域管理課長

それでは、一次評価について説明いたします。

評価資料の 44 ページをお開きください。

まずは「管理状況」に関する評価のうち、「適切な管理の履行」についてです。

有料公園である東京港野鳥公園におきましては、利用者に快適な環境を提供するため、トイレやネイチャーセンターの清掃、草刈り、ヨシ刈り、樹木剪定が強化されています。また、開園前の管理事務所周りは「ウェルカム清掃」と名付け、ベンチやテーブルの拭き掃除に加えて、公園外の外周歩道の煙草吸い殻や空き缶拾いなどの清掃まで徹底し、来園者にとって居心地の良い空間を目指した環境整備を行ったことから、「建物管理」「園地管理」「樹木管理」において、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「窓口業務（接遇・苦情対応）」について、窓口で当日の行事、鳥情報、自然情報や公園の見どころなど、常に利用者の視点に立った情報を提供しております。利用者アンケートにおいても 4 段階評価で「スタッフの対応」が平均 3.9 と非常に高い評価を得ていることから、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「安全性の確保」についてです。管理瑕疵による事故等の発生はありませんでした。

また、駐車場に段差が発生し、利用者が躓き転倒する危険性があったため、通行帯を整地し、来園者が安心して快適に利用できる環境を整備したため、「安心して利用できる環境形成」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に「法令等の遵守」では個人情報の取扱いなど問題がないことから、「水準どおり」と評価いたしました。

また、「適切な財務・財産管理」についても、貸与物品を適切に管理・使用していることから、「水準どおり」と評価いたしました。

評価資料の 45 ページをご覧ください。「事業効果」に関する評価についてです。

「事業の取組」では、年間を通じた米作り体験（田んぼクラブ）を実施しました。新型コロナウイルス感染症で米作り体験を中止していましたが、参加者が米作りを再び経験できるよう、休止中も米作りを継続して行い、事業の再開を実現しました。種まき、田植え、稲刈り、最後にもち米を持ち帰るまで一貫して行い、米作りのほか、田んぼの生き物観察なども合わせて実施することで、参加者から貴重な体験ができたことと好評を得ました。また、ナイトツアーを新たに実施し、セミの羽化や樹液に集まる昆虫など、夜の様々な生き物の生態を観察する機会を提供し、公園の魅力を伝えられたほか、公園の愛好者を増やす取組となりました。

さらに、大型イベントで苗木の無料配布などを行う際は、これまで先着順で当日の参加者が多数並んでいたところを、新たにQRコードを活用し、事前申込制としたため、参加者の並びを解消し、利便性の向上を図りました。

これらの取組により、「公園の愛好者や支援者の獲得」「公園滞在中の満足度向上」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「公園の情報発信への取組」について、レンジャーが園内で確認した野鳥の種類や写真を増やすなどブログの内容の充実を図り、休園日を除き毎日発信したことにより、PV数は約965,000件と前年度比184%の成果を上げました。このことにより、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「施設の利用状況」についてです。利用者数は、前年度から約3%増加に留まり、過去3か年平均からは約47%増加していることから、「水準どおり」と評価いたしました。

次に、「利用者の反応」では、アンケートを集計した結果、すべての項目で高い評価を受けておりましたので、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「行政目的の達成」については、都のキャッシュレスの取組に協力し、入園料のほか年間パスポートにおいてもキャッシュレス対応を実施しました。評価については、「水準どおり」としております。

評価資料の46ページをご覧ください。東京港野鳥公園グループの代表団体である東京港埠頭株式会社の財務状況につきましては、先ほどご説明したとおりですので、同様に、海上公園の管理運営事業を行うにあたり財務状況による支障等は見受けられませんでした。

また、構成団体につきましても財務状況による支障等は見受けられず、東京港野鳥公園グループの経営状況、財務状況ともに事業継続に当たって問題がないことを確認いたしました。

52ページをご覧ください。これらの評価結果を総合し、東京港野鳥公園の評価を「S」といたしました。

一次評価結果の説明については、以上でございます。

■加藤 海上公園課長

引き続き二次評価案についてご説明いたします。

54ページをご覧ください。東京港野鳥公園は「S」評価としております。

「管理状況」について、来園者に公園に滞在する時間をより快適に過ごしていただくために、ウェルカム清掃と名付けて清掃を徹底して行ったこと、隣接する大田市場で特定外来種のアライグマによる被害が発生し公園内でも足跡が確認されたことから、大田市場と連携して捕獲駆除を行ったこと、窓口対応では野鳥やイベントの情報、公園の魅力や見どころなど、利用者の満足度を高める対応に加え、利用者の声を

踏まえ、無料で貸し出している虫かごを小さいプラスチック製のものから虫にやさしい大きく柔らかい網性のものに改善したことなどを通じて、高い水準の利用者満足度を得たことを記載しております。

「事業効果」について、田んぼクラブや自然生態園ナイトツアーを実施し参加者から貴重な体験ができたといった好評価を得たこと、レンジャーが確認した野鳥の種類や写真をブログで毎日発信し、ページビューが非常に伸び前年度比 184% という成果を上げたこと、年間パスポートについて新たに期間限定で年間パスポートキャンペーンを実施し、前年度と比較して販売枚数、来園者数ともに上回る成果となったこと、これらの取組により新規来園者やリピーターの獲得につながったことを記載しております。

その他、キャッシュレス発券機を導入したことを記載しております。

二次評価案の説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

■菊地 委員長

私もよく行かせていただいております、良い公園だと思います。年間パスポートも利用させていただいているので非常に助かっています。

■水庭 委員

野鳥が生息する公園であり、草むらは虫や鳥たちの生息域にもなると思うので、草刈りの頻度をそこまで上げなくても良いのではないかと思います。適切な回数というのはどのくらいかと思いました。また、ブログの飛躍的な増加というのを見て取れますが、その中で英語版も作っています。海外の来園者もいらっしゃるのでしょうか。

■菊地 委員長

結構います。羽田空港も近いので乗り換えのちょっとした時間に訪れる人など多いので割と外国人の利用客は、私は少なくはないと思います。

■小宮山 委員

ここ3年間はずっと「S」評価ですね。

■岡 臨海地域管理課長

3年間ではそうですね。

■菊地 委員長

アクセスがわかりづらいというのはずっとあり、最寄り駅から降りて、どこに野鳥公園があるのかって分かりづらかったのですが、今年の終わりごろからだいぶ改善されてわかりやすくなりました。

■岡 臨海地域管理課長

シェアサイクルも導入されて、それに乗って帰られる方もいます。

■菊地 委員長

皆さん色々な意見があると思いますが、二次評価については原案通りでよろしいでしょうか。

■小宮山 委員

異議ありません。

■水庭 委員

異議ありません。

■菊地 委員長

それでは、二次評価については原案どおりとしたいと思います。

続きまして、「大井ふ頭中央海浜公園ほか 14 公園」のアメニス海上南部地区グループの一次評価結果及び二次評価の事務局案について、事務局から説明をお願いいたします。

■岡 臨海地域管理課長

それでは、一次評価について、ご説明いたします。

56 ページをお開きください。「管理状況」に関する評価についてです。

「適切な管理の履行」について、大井ふ頭中央海浜公園では、芝刈り、園地清掃、樹木剪定などを強化していることから、「園地管理」「樹木管理」について「水準を上回る」と評価いたしました。

また、「規制業務」については、不法占拠者に対し粘り強く声掛け等を行い、退去に繋がったことから、「水準を上回る」と評価いたしました。

続いて、城南島海浜公園は、草刈り、園地清掃、樹木の剪定などを強化していることから、「園地管理」、「樹木管理」、について、「水準を上回る」と評価いたしました。次ページをお開きください。

京浜島つばさ公園は、草刈り、園地清掃などを強化していることから「園地管理」について「水準を上回る」と評価いたしました。

京浜運河緑道公園は、長期間滞在していた不法占拠者が退去し、残された荷物等を適切に撤去したことから、「水準を上回る」と評価いたしました。

京浜島緑道公園は、不法投棄がありましたが迅速に撤去し、不法投棄禁止の看板を設置し対策を講じたことにより、その後不法投棄がなくなったことから、「規制業務」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

城南島緑道公園は、樹木の剪定を強化していることから、「樹木管理」について、「水準を上回る」と評価いたしました。また「規制業務」について、後を絶たない不法投棄について、徹底して対応したことから、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、南部地区は接遇に関するアンケート評価が高く、利用者への案内も適切に行っているため、「窓口業務（接遇・苦情対応）」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に「安全性の確保」についてですが、日常の巡回や点検が適切に行われ、管理瑕疵による事故発生はありませんでした。防災訓練などを適切に実施していることから全て「水準どおり」と評価いたしました。

次に「法令等の遵守」では個人情報の取扱いなど問題はありませんでしたが、写真撮影の占用料の徴収・納付事務において、金融機関への納付が遅れてしまう事案が発生したため、「水準を下回る」と評価いたしました。なお、対策として徴収マニュアルや占用料の納付体制を見直しました。

次に、「適切な財務・財産管理」については、貸与物品を適切に管理・使用していることから、「水準どおり」と評価いたしました。

59 ページをご覧ください。次に「事業効果」に関する評価についてです。大井ふ頭中央海浜公園は、バーベキューエリアにおいて、区画整備工事後のリニューアルに合わせて、WEB予約を導入したことにより、それまでフリーエリアだったため発生していた利用者のトラブルやごみ放置などの問題を解決しました。また、利用者数の管理に、よりきめ細かく対応が可能になるなど、利用者の利便性や快適性を向上させたことから、「公園滞在中の満足度向上」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

城南島海浜公園は、キャンプ場の予約をこれまでの電話予約からWEB予約へ変更し、24時間予約可能になり利便性向上を実現しました。また利用者から好評を得ていることから「公園滞在中の満足度向上」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「利用の状況」についてです。

大井ふ頭中央海浜公園の利用者数は前年度に比べて約15%増加し、過去3か年平均からは約50%増加したため、「水準を上回る」と評価いたしました。

城南島海浜公園は、利用者数が前年度に比べて約29%減少し、過去3か年平均からは約32%減少しました。これは記録的な夏の暑さの影響により、例年より利用者が減少したと考えられます。評価は「水準を下回る」といたしました。

評価資料の60ページをご覧ください。

続いて「利用者の反応」ですが、大井ふ頭中央海浜公園、城南島海浜公園は3項目が高評価を得ています。また、京浜島つばさ公園では、全ての項目において高評価を得ており、利用者から「トイレが綺麗で、飛行機が見られて楽しい」など好評を得ているため、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「行政目的の達成」についてですが、公園の都施工工事に関して、都や施工事業者と調整を行い、利用者の安全性確保とともに、円滑な工事の実施に協力しました。

評価については、「水準どおり」としております。

アメニス海上南部地区グループの代表団体である株式会社日比谷アメニスの財務状況につきましては、62 ページをご覧ください。

選定時と比べ、「自己資本比率」は下回っていますが、「売上高営業利益率」は上回っており、その他4項目で選定時と同等の水準を維持していることから、海上公園の管理運営事業を行うにあたり財務状況による支障等は見受けられませんでした。

63 ページから 64 ページが、損益計算書、賃借対照表、経営資本及び比較表となっております。

また、構成団体につきましても財務状況による支障等は見受けられず、アメニス海上南部地区グループの経営状況、財務状況ともに事業継続に当たって問題がないことを確認いたしました。

74 ページをご覧ください。

以上の評価結果等を総合して、大井ふ頭中央海浜公園ほか 14 公園の評価を「B」としました。

一次評価結果の説明については、以上でございます。

■加藤 海上公園課長

引き続き二次評価案についてご説明いたします。

76 ページをご覧ください。このグループいずれの公園も「B」評価としております。

「管理状況」について、大井ふ頭中央海浜公園では、園地管理、樹木管理について基準を上回る回数を実施し、緑豊かな公園という特性を活かした園内の環境整備を適切に行ったこと、その他の公園について、京浜島緑道公園では不法投棄がありましたが、速やかに回収をするとともに、注意看板の設置や樹木の選定によって周囲の見通しをよくするなど適切に対応したこと、令和4年度に引き続き、5年度において京浜島緑道公園のベンチを10基更新するなど、適切に園内管理をしたことを記載しております。

「事業効果」について、大井ふ頭中央海浜公園では、バーベキューエリアのリニューアルに合わせてWEB予約を導入したこと、利用者数などを適切に管理することで、これまでフリーエリアだったことに起因して発生していた利用者トラブルやゴミの放置などの問題を解決したこと、城南島海浜公園では、こちらもキャンプ場の予約についてWEB予約を導入したことで利便性を向上させたこと、現地での案内だけで

なくホームページやSNSでも周知を行い、WEB予約導入についてスムーズに移行することができたことを記載しております。

その他、京浜運河の防潮堤工事や京浜島緑道公園のサイクリングルート整備工事といった東京都が施工する工事にあたり、都や設計施工事業者と適切に調整したことを記載しております。

二次評価案の説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

■水庭 委員

59 ページの利用状況について、城南島海浜公園の利用者は減ったのですか。

■事務局

砂浜がある公園で、緑地が少ない場所なので熱中症警戒アラートなどが出てしまうと、どうしても利用控えがあると思います。天候によって利用に影響が出やすい場所と思います。

■水庭 委員

今後どう評価していくのか、ただ数で追っていくだけではなくて背景を見ると色々な要因わかると思います。そこをどう加味していくかだと思います。

■菊地 委員長

コンテナふ頭公園ですが、狭い範囲のところであって、あまり利用されていない感じがします。海上公園ガイドの写真をみると荒れている公園にも見えます。写真は今年変えたほうがいいのかもわからないのですが、この公園は本当に水準通りなのでしょうか。アクセスも悪そうであり、ほとんど利用もない。他の公園に比べるとなんの魅力もないし、海上公園ガイドにはトイレなどの利用のマークもありません。公園としてうまく利用されているのでしょうか。

■事務局

近くで働かされている労働者の方がたくさんいらっしゃいますので、休憩場所として利用されています。施設はないのですが労働者の休憩場という目的もあり、樹木と草刈りの回数につきましては基準通りに実施していますので、そこを評価し水準通りといたしました。

■菊地 委員長

それに伴うような、ベンチとかもあったほうが良いような気もします。そうすればこういう小さな公園でも利用価値が十分あると思います。

■菊地 委員長

それでは、二次評価については原案通りでよろしいでしょうか。

■小宮山 委員

異議ありません。

■水庭 委員

異議ありません。

■菊地 委員長

それでは、「大井ふ頭中央海浜公園ほか 14 公園」の評価につきましては、案のとおりにさせていただきます。

続きまして、最後になります、「葛西海浜公園」の葛西海浜公園パートナーズの一次評価結果及び二次評価の事務局案について、事務局から説明をお願いします。

■岡 臨海地域管理課長

それでは、一次評価について説明いたします。

評価資料の 78 ページをご覧ください。まずは「管理状況」に関する評価についてです。

「適切な管理の履行」ですが、トイレ清掃の強化や、砂浜の整地、特定外来生物の適切な回収と駆除を迅速に行ったこと、また、GPS を使用した植物調査を実施し、園内の植生マップを作成することで、外来生物の駆除行うなど希少植物保全に向けた維持管理を行ったことから、「建物管理」「園地管理」を「水準を上回る」と評価いたしました。

また、接遇に関するアンケートが高評価となっており、利用者からの問合せにも丁寧に対応していたため、「窓口業務（接遇・苦情対応）」について、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「安全性の確保」についてです。日常の巡回や点検が適切に行われ、管理瑕疵による事故の発生はありませんでした。

園内でケータリングカーなど食品を扱うことがあるため、スタッフが食品衛生責任者資格を取得し、管理者として利用者に安全な利用環境を提供しました。

評価については、「水準どおり」と評価いたしました。

次に、「法令等の遵守」では個人情報の取扱いなど、問題がないことから、「水準どおり」と評価いたしました。

また、「適切な財務・財産管理」についても、貸与物品を適切に管理・使用していることから、「水準どおり」と評価いたしました。

79 ページをご覧ください。次に「事業効果」に関する評価です。

「事業の取組」につきまして、ラムサール条約湿地登録 5 周年イベントを開催し、他のラムサール条約登録湿地と連携した展示や船上からの野鳥観察、ラムサール条約にまつわるクイズラリーなど、貴重な干潟の保全への意識を高めるコンテンツを幅広く提供したことにより、公園の新規来園者や愛好家の獲得につながりました。

また、パークレンジャーの仕事を体験できる子ども向けイベント「かさいキッズレンジャー」を新たに実施しました。野鳥の営巣地整備やカニの巣穴調査などを行い、パークレンジャーの仕事や生物調査の意義を認識してもらう機会となり、自然保護への関心を高めるとともに、公園の愛好家の獲得へつなげました。さらに、新たなイベント「海のごみ拾いと生物観察会」では、海への漂着ごみや葛西で見られる生物について、講師を招いて、専門的な解説を行い、参加者の理解を深める取組を行いました。このことから、「水準を上回る」と評価いたしました。

次に、「利用の状況」についてですが、年間の利用者数は前年度に比べて約11%減少しました。これは、記録的な夏の暑さの影響により、例年より利用者が減少したと考えられます。過去3か年平均からは約7%増加したため、評価は「水準をどおり」としております。

次に、「利用者の反応」については、「樹木等の維持」「安全安心」「総合満足度」の項目で利用者のアンケート評価が高いため、「水準を上回る」といたしました。

続いて「行政目的の達成」の項目ですが、キャッシュレス化導入への取組として、自動販売機のキャッシュレス対応を実施しました。評価については、「水準どおり」としております。

葛西海浜公園パートナーズの代表団体である西武造園株式会社の財務状況につきましては、80ページをご覧ください。選定時と比べ、全ての項目が選定時と同等の水準を維持していることから、海上公園の管理運営事業を行うにあたり財務状況による支障等は見受けられませんでした。

81ページから82ページが、損益計算書、賃借対照表、経営資本及び比較表となっております。また、構成団体につきましても財務状況による支障等は見受けられず、葛西海浜公園パートナーズの経営状況、財務状況ともに事業継続に当たって問題がないことを確認いたしました。

86ページをご覧ください。これらの評価結果を総合し、葛西海浜公園の評価を「A」としました。

一次評価結果の説明については、以上でございます。

■加藤 海上公園課長

引き続き二次評価案についてご説明いたします。

88ページをご覧ください。葛西海浜公園は「A」評価としております。

「管理状況」については、便所清掃など基準を大幅に上回る清掃の実施やトイレの照明のLED化、床面の加工塗装を行い利用者の快適性を高めたこと、植物調査を実施し、より精度の高い植生マップを作成することで園内の植物や生育状態を把握して、希少植物の補填に向けた維持管理に活用したこと、地震など自然災害などの避難経路を園内に掲示するとともに英語表示やピクトグラムも使用し、様々な利用者の利

便性の安全性の確保を図ったこと、避難誘導時に聴覚障害のある方や外国人にも確実に避難情報を伝えられるように手持ち看板を作成したことを記載しております。

「事業効果」について、ラムサール条約湿地登録5周年イベントでは、他のラムサール条約登録湿地とも連携をして様々なブース出展をしたこと、それに伴い前年同時期と比べ138%の増の方が2日間で来園したこと、イベントなどを通じて講演の魅力をPRするとともに賑わいを創出したこと、パークレンジャーの仕事を体験できるかさいキッズレンジャー、葛西臨海公園や葛西臨海水族園などと連携をした大人向けのイベントの海ゴミ拾いと生物観察会など新たに実施し、干潟や生物などの自然保護への関心を高めるコンテンツを幅広く提供し、新規来園者や愛好家の獲得につなげたこと、ラムサール条約5周年の節目にインスタグラムを開設し、イベント情報や潮位情報、公園の見所など発信して認知度向上を図ったことを記載しております。

「その他の観点」について、ラムサール条約湿地を含む海浜公園としての特性など公園の様々な魅力を伝えるために、自然教育の専門家であるパークレンジャーやコーディネーターを配置することで、生物多様性を伝える多彩なイベントの開催や地域団体等との協働事業を推進していることを記載しております。

二次評価案の説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございます。ただいまの説明にご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

■水庭 委員

70 ページで、来園者が全体的に11%減少しているという中でも「水準通り」ですが線引きはどのようにされているのですか。

■岡 臨海地域管理課長

前年比5%増かつ3ヵ年比5%増で「水準を上回る」、前年比5%減かつ3ヵ年比5%減で「水準を下回る」、それ以外を「水準通り」としております。

■菊地 委員長

私は葛西海浜公園を注目しております。指定管理者が変わったところですが、葛西臨海公園と葛西海浜公園の連携はうまくいっていますか。

■事務局

今回は海ごみ拾いと生物観察会で臨海水族園と連携しています。

■菊地 委員長

隣り合っている公園であり、葛西海浜公園に行くためには葛西臨海公園を通っていかないといけないため、連携は不可欠です。最初の頃はぎこちなかったような気もしますが、色々なイベントや新規の試みなどをやって地に足がついてきた管理がされていると感じます。指定管理者も成長しているという印象を受けました。私は当然の評

価と思います。伸びしろもあると思うので、次は「S」評価を目指してもらえればいいと思います。

■菊地 委員長

他に何かありますでしょうか。

それでは、二次評価については原案通りでよろしいでしょうか。

■小宮山 委員

異議ありません。

■水庭 委員

異議ありません。

■菊地 委員長

それでは、「葛西海浜公園」の評価につきましては、案のとおりにさせていただきます。

以上を持ちまして、海上公園の指定管理者管理運営評価は全て終わりました。全体を通してご意見があればお伺いしたいと思いますが、水庭委員いかがでしょうか。

■水庭 委員

海上公園にはそれぞれの特徴がありますが、利用者にとってという話をすると、民間の方からもご提案いただいて、例えばちょっとしたコンビニエンスストアを設置して、労働者の方にもう少しくつろいでもらうような事例があってもいいと思いました。緑があるだけが公園ではないので色々な利用があってもいいと思いました。逆に、葛西海浜公園については、バーベキューの楽しめる公園として、皆さんにも親しまれていると思いますが、葛西臨海公園の方にもバーベキュー広場がありますよね。その線引きはどんなものでしょうか。利用者がたくさん増えているというご報告もいただいているので魅力は十分に伝わっているのかなと思いますが、ラムサール条約に登録されているようなところなのでバーベキュー広場は無くてもいいのではないかと気になりました。生物をもっと観察するような場所であってもいいと思いました。今度、管理事務所が公園の中に設置されるというお話もお伺いしたのですが、過剰な設備にならないようにということは、少し気になったところです。

■菊地 委員長

小宮山委員いかがでしょうか。

■小宮山 委員

これからどんどん気温が高くなり、利用者が減ることが予想されるので、評価はどうするのかということと、日陰や少し涼めるような施設を考えたほうが良いと思いました。

■菊地 委員長

今年度はうまく連携をされてこられたということで、さらに連携を深めていくというのにも必要になってくると思います。私は4月に札幌市の都市公園自然公園を調査に行ったのですが、そこでも利用者が減っている。そこで利用者をどういうふうを増やすかということで新たな試みである環境教育に非常に熱心に取り組んでいると伺いました。先ほどの水庭委員の意見とも関係しますが、環境教育で自然を理解することで、小学生に色々な公園で楽しんでもらい環境に親しんでもらうということを行っていました。小学生は楽しんでいる、そこで魚を捕ったり虫を捕ったりしながら、利用者を増やしているようです。小学生が楽しんだら親も来ますから、そうすると利用者が増えてくる。東京都も小学生とか、中学生向けの環境教育を考えてみたらいいのではないかと思います。

■菊地 委員長

次に、事務局より令和5年度の巡回点検の結果について説明をお願いいたします。

■岡 臨海地域管理課長

「令和5年度 巡回点検の結果報告について」をご覧ください。

海上公園の適切な管理運営を行うに当たり、指定管理者の巡回点検業務の実効性を高めるため、都の海上公園の巡回点検により発見した不具合について、指定管理者が対応した履行状況を都が把握し、進捗管理しております。この指定管理者の対応の結果を毎年度指定管理者評価委員会に報告することにより、指定管理者の海上公園の管理運営に対する意識を高めて、より一層の適切な管理を図っていきます。

資料の1、「都による日常の巡回点検」ですが、

都は全ての海上公園を、ひと月に1回以上巡回し、公園内や隣接道路から目視を行い、樹木の剪定や草刈りなどの園地管理が適切に履行されているかを確認しています。また、ベンチや遊具などの公園施設の不具合により、来園者に危険を及ぼす状況となっていないか、建物（事務所、トイレ等）の破損や汚れ、安全管理面などを確認しています。

都の巡回点検の結果、改善が必要な箇所を発見した場合は、指定管理者に対応するよう指示し、不具合が解決するまで管理を行っております。

2、「令和5年度都の巡回点検結果」につきましては、表をご覧ください。

件数は21件ありました。南部地区13件、東部地区6件、臨海地区2件でした。令和5年度に発見された不具合は、全て年度内に対応を完了しておりますが、南部地区は他の地区に比べて、不具合の件数が多い状況でした。

このことを踏まえまして、南部地区には巡回点検の改善に取り組むよう、指導してまいります。

3、「南部地区の巡回点検に係る令和5年度の取組」につきましては、

指定管理者には、巡回点検で発見した問題や施設の不具合等について、不具合等対応状況処理簿に記載し、常に履行状況を把握するとともに、速やかに適切に対応できるよう引き続き指導していきます。

都については、指定管理者が作成している不具合等対応処理簿の履行状況調査を四半期に1回実施し、巡回は適切に実施されているか、また発見した不具合等は速やかに適切に対応が取られているか確認していきます。

6年度も引き続き巡回点検を指定管理者の海上公園の管理運営に対する意識向上を図っていきます。

令和5年度巡回点検結果の説明は以上でございます。

■菊地 委員長

ありがとうございます。それではただいまの説明について、ご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。

■菊地 委員長

老朽化による不備が多いのでしょうか。

■事務局

南部地区などはそれも一因になっています。

■菊地 委員長

老朽化による復旧は指定管理者が直すのですか、都が直すのですか。

■事務局

線引きがあります。30万円以下のものは指定管理者で迅速に速やかにできるように、それ以上のものにつきましては、東京都に報告をしていただいで協議をしていきます。

■菊地 委員長

指定管理者が直せる範囲のものが多いのか、あるいは今後東京都が直していかなければいけないようなものが多いのかどちらですか。

■事務局

指定管理者のほうで直してもらう方が若干多いと思います。これまで十分対応してきましたので、今はだいぶ改善されております。巡回していても不具合を発見することは少なくなっています。

■菊地 委員長

老朽化というのは否めないこともあります。指定管理者がこまめに巡回しているかというのが老朽化を防ぐ手立てになると思っています。最終的には全面的に、あるいは構造的に直さなくてはならないと思いますが、とにかく巡回は大事だと思います。

他に何かありますでしょうか。

■小宮山 委員

11 番について、巡回した日が7月で、履行確認が翌年の1月と、約半年後になっているのですが、これはどういうことでしょうか。

■事務局

木の枠でできている階段であり、利用者に影響する範囲で応急処置を速やかに実施しました。全体的に直すために時間を要したところです。

■小宮山 委員

10 番と同じように応急処置はしていたのですね

■菊地 委員長

他にありますでしょうか。

それでは最後に今後の予定につきまして、事務局よりお願いします。

■加藤 海上公園課長

菊地委員長ありがとうございます。本日の議事につきましては、冒頭にもご説明させていただきましたとおり、議事録を作成しまして、後日、ホームページなどで公開をさせていただきます。

また今後、本委員会における二次評価に基づき、東京都で総合評価を決定いたします。総合評価はプレス発表するとともに、ホームページでも公表いたします。公表時期につきましては、9月中旬頃を予定しております。

以上です。

■菊地 委員長

それでは本日の評価委員会はこれで終了いたします。